

保育料値上げ問題に関して

***2月22日に請願書提出**

***署名11,016筆を2週間で達成し、3月19日保育課に提出**

残念ながら保育料値上げ撤回の願いはかなわず。ただし、学童保育の保育料は、運動の成果により「値上げについては…1年間先送りすること」という付帯決議が付く

市保連では、各保育園の保護者会の代表が集まり、保護者会活動に関しての意見交換をするとともに、保育園を取り巻く様々な課題に取り組んでいます。近年では京都市独自のプール制の問題、子ども子育て新システムの問題、公立保育園の民営化の問題などの課題につき学習し、要求をまとめてきました。

今回、保育料を値上げする計画が明らかになって以降、その問題点を明らかにし、撤回を求めるための行動に取り組んできました。

残念ながら3月22日の市議会で保育料値上げについては承認され、この4月分から保育料の負担増が生じることになってしまいました。しかし、私たち保護者が反対の声を組織できたことは、今後のことを考えると、一定の意義があったと考えます。

1 保育料値上げに関して市保連の見解

(1) あまりにも大きな負担増

値上げの理由について、京都市保育課は「待機児童の解消のためにも保育所運営費を伸ばしてきた。その分の負担を求めざるを得ない状況になった。値上げ幅は平均900円/月程度」と説明しています。

しかし、実際はどうでしょう。たとえば、(条件によりますが)世帯月収20万円以下でも、3歳未満で900円上がるD3階層となります。どう考えても、すでに切り詰めた生活をしている世帯にとって、月900円の出費増は、「たかが900円」とは言えない金額ではないでしょうか。しかも、今回の値上げ幅は、最大で5,500円/月にもなります。今はそれなりに年収があったとしても、この値上げは決して小さいものではありません。まして、兄弟姉妹がいたり、同じく値上げが提示されている学童保育に通う子どもがいたりすれば、この値上げ幅はもっと大きく家計にひびくこととなります。ただでさえ収入は伸び悩み、雇用環境も厳しさを増して明日の職の保障もない中、この負担増は実際の金額以上の重みをもって保護者にのしかかります。

(2) あまりにも急な提案

今回の保育料が値上がりするかもしれないというお知らせは、保育園の新規申込みや継続申込みの手続きをする12月ではなく、申請後の2月に知らせられ、決まればこの4月から実施されるというものでありました。

確かに申請時の保育料表には、「変更する場合があります」と記載はされています。しかし、急に決められるほうは、たまったものではありません。待機児童がなかなか減らないのは、経済的に苦しいために夫婦共に働くことを選択する世帯が増えているからです。こうした世帯は、保育料がどうなるかを強く意識して、就労するか否か、働き方をどうするか、決定しているはずで、突然の変更の結果、保育料を稼ぐために働くという世帯も生じかねません。

ご存知の通り、この国で「少子化」が問題となって久しくなります。この問題の解決のために、これまで様々な施策がなされてきましたが、今回の値上げは、この流れに逆行するものであります。経済的に不安定な中でも子育てをしようという意欲を持てるような施策こそが、今求められているのではないのでしょうか。

2 市保連の取り組み状況

(1) 2月13日

京都市議会に平成25年度保育料の値上げが提案され、市保連 ML に情報が入る。

市保連 3 役に対して保育料値上げの説明をしたいとの連絡が保育課から増田会長に入る。

(2) 2月14日

京都市保育課から『平成25年度保育料改定について(お知らせ)』が各園に配布される。

(ホームページにも掲載される)

(3) 2月20日

保育課から値上げについての説明を増田会長ら受ける。

左保連が保育料学習会を行う。

(4) 2月21日、22日

市保連の請願。左保連も同様に請願。

自民、民主、公明、京都、無所属に請願の紹介議員となっただくよう要請するも断られる。共産の井上、加藤、河合市議に紹介議員となっただく。

(5) 2月27日

市保連臨時代表者会議の開催。請願の報告と要望署名を行うことを決める。

(6) 3月2日

要望署名(独自に作成した保育料新旧比較表をつけて)を京都市内全保育園あて発送

(7) 3月9日

バイバイ原発会場で要望署名集め。

(8) 3月13日

要望署名の中間集約作業。

教育福祉委員会の議員あてに中間集約数 5500 筆である旨 fax する。

(9) 3月14日

教育福祉委員会へのモニター視聴

請願は審議(質問者:自民・桜井議員、共産・加藤議員)の上、留保となる。

(10) 3月19日

京都市保育課へ要望書 10,116 筆を提出。

KBS 京都、京都新聞、しんぶん赤旗、京都民報の取材を受ける。

京都市議会の各会派に要望書提出などのニュースを届ける。

KBS 京都で、同日 11 時 55 分のニュース、19 時の番組で放映。

京都新聞、京都民報での翌日朝刊に写真付きで記事掲載。

(11) 3月22日

京都市議会平成 25 年度京都市予算案可決され、保育料値上げが決定されてしまう。

ただし、学童保育料に関しては「1 年間の先送り」の付帯決議がなされる。